

平成 30 年度

## 一般財団法人高山市体育協会事業計画

### 1 (一財)高山市体育協会の基本方針について

一般財団法人高山市体育協会の目的は「市民の健康づくりを図り、アマチュアスポーツを普及振興するとともに、地域社会の発展に寄与すること」である。

本年は、これまでの自主事業や指定管理事業を積極的に推進し、市民が利用しやすいスポーツ施設の整備やスポーツの魅力を市民に提供し、地域社会の発展に寄与するとともに、体育協会の目的を再認識し、高山市と連携を図りながら、地域スポーツ振興の今後を見据えた事業を展開する。

### 2 (一財)高山市体育協会の事業について

高山市体育協会の目的達成のため、次の事業を展開する。

- ① 市民の健康づくり・スポーツの普及振興
- ② スポーツ振興・競技力向上
- ③ 競技団体の強化及び発展
- ④ スポーツ振興のため実施する受託事業

#### ① 市民の健康づくり・スポーツの普及振興について

高山市体育協会の事業の中で市民参加型の事業は、市民健康マラソン、市民駅伝大会、市民登山クラブ、ビッグアリーナ開放事業で、いずれも市民が楽しみにしている事業として定着している。どの事業も知名度は高くなっており、市民に受け入れられる事業に成長してきたが、事業の多くは天候に左右される屋外事業であるため、事前の計画、準備、業務分担等をきめ細かく行い、安心安全に事業運営ができるようにする。

又、障がい者のスポーツ振興を高山市と連携して進めて行く。

#### ② スポーツ振興・競技力向上について

飛騨地区体育大会への選手派遣事業や県民スポーツ大会への選手派遣事業は、各加盟団体の選手強化により、飛騨地区体育大会は常に総合優勝を果たしている。又、昨年の県民スポーツ大会では、サッカー競技、ハンドボール競技、弓道競技、スキー競技が優勝し、高山市は総合第 5 位の好成績を収め、近年では最高の成績となった。この成績は、体育協会が競技力向上に取り組んできた成果が着実に実ってきたことで高く評価できる。今後も更なる上位を目指すために、高山市の代表選手に対しできるかぎり派遣費を補助する。

又、全国大会へ出場する多くの団体、個人に対して高山市体育協会は激励金を交付してきた。この事業は選手の励みになり、更なる競技力向上につながるものとして今後も継続する。

自主事業の市民体育大会は、市町村合併等様々な事情により休止している種目があるので、平成30年度に今後の市民体育大会のあり方について検討する。

### ③ 競技団体の強化および発展について

高山市体育協会は、加盟団体が市民に広く呼び掛け開催する大会を支援するための共催事業を行っている。毎年、多くの加盟団体が共催申請を提出している。各加盟団体はこの共催事業でスポーツの魅力を市民に提供し、自らも更なる選手強化策に繋げるようにする。

又、表彰事業は毎年1月21日に体育功労者並びに優秀な成績をあげた選手・団体等に対して、高山市体育協会の「表彰規程」及び「表彰規程内規」に基づいて行っている。この事業は協会員の励みにもなり、選手・チームの士気の高揚にも繋がるため今後も継続して行う。

スポーツ少年団本部事業及び助成については、体育協会事務局に過度な負担がかからないよう事業の見直しや自立した組織づくりをめざす。また、助成金については、スポーツ少年団活動の充実を願い今後も継続して行う。

### ④ スポーツ振興のため実施する受託事業について

高山市体育協会は、高山市からスポーツ振興事業の一環として「スポーツ教室受託事業」と「体育施設指定管理事業」の二つの事業を請け負っている。

スポーツ教室は、毎年、各加盟団体の協力を得て初心者を対象にしたスポーツ教室を開催している。平成29年度は、飛騨山岳会によるクライミング教室、弓道教室、アーチェリー教室、テニス教室、バドミントン教室、卓球教室、バレーボール連盟によるソフトバレー教室を行っている。この事業は、各加盟団体にとっても競技者の底辺拡大と会員確保にもつながっている。

又、トレーニングルーム登録講習会は、毎月4回開催し多くの市民が講習を受けている。講習会は、体育協会事務局職員がトレーニングルームの利用方法や機器の扱い方等の指導を行っており、平成30年3月現在 17,800名が会員登録をしている。しかし、トレーニング機器の老朽化や会員の増加等により機器の更新や新機購入が望まれている。

高山地区体育施設指定管理事業については、平成26年度より新たに5年間、高山市体育協会が15の体育施設の指定管理者となった。指定管理については、今後も高山市(スポーツ推進課)との連絡調整を図りながら市民の体力づくり、健康づくり、競技力向上をめざし、スポーツ環境の整備や効率的な貸し出し業務に努めていく。

## 3 (一財)高山市体育協会の財務状況について

一般会計の収入では、基本財産運用収入は低金利により厳しい状況である。会員会費や賛助会費も伸び悩んでおり、一般会計は自主財源のみでの収入確

保は難しい状況になっている。

特別会計の収入では、市民健康マラソン等の自主事業収入は横ばいとなっているが、指定管理料や体育施設使用料は安定した収入が確保できるようになっている。又、歳出では、スポーツ施設の老朽化等により修繕費や備消耗品費が増加しており、この増加傾向は今後しばらく続くものと思われる。

このような状況の中、一般会計の事業を充実するためには自主財源のみでは収入確保は厳しいことから、特別会計からの繰り入れにより一般会計収入の底上げを図り、平成30年度に飛騨地区で開催される県民スポーツ大会の上位入賞を目指せる予算にし、その他の事業においても最小の経費で最大の効果が得られるようメリハリのある予算措置を行う。

高山市体育協会の自主財源の確保については

- 1.低金利ではあるが安全確実な定期預金の運用を図り、その果実を確保する。
- 2.各加盟団体が新規加入を促進しながら会員確保に努める。
- 3.各加盟団体や役員の協力を得ながら、事業主や個人に対して賛同が得られるよう賛助会員の新規開拓に努める。
- 4.自動販売機の運用と販売機の増設による自動販売機収入の増収に努める。

#### **4 高山市体育施設の指定管理について**

現在、高山市体育協会は、ビッグアリーナをはじめ15の体育施設の管理、運営を行っている。

平成26年度を期首とした平成31年3月31日までの5年間の第3期基本協定も今年度が最終年度となる。この指定管理事業の意図は、施設の設置目的を効果的・効率的に達成し、利用者の多様化するニーズに応え、サービス向上、安定した施設運営等を図ることである。

高山市体育協会は、次の第4期基本協定に向けて、市民の幅広いニーズや要望に応え、高山市(スポーツ推進課)との連携を密にしながら市民から信頼される適切な管理運営に努めなければならない。そのためには、指定管理者としての自覚と責任を強化し、適正な業務を推進するとともに市民の声を幅広く収集(アンケートやモニタリング、聞き取り調査等)し、信頼される指定管理者としての実績を積み重ねていく。

#### **5 「社会体育施設の改修整備計画」について**

高山市では、まちづくりの指針となる第八次総合基本計画を策定した。又、高山市スポーツ推進課では、社会体育施設の改修整備計画(平成29年度市全体の施設調査、30年度整備計画策定開始、31年度整備計画完成)を策定する。今後はこの整備計画に基づき社会体育施設のハード面の整備・改修等が計画的に行われることとなる。これによって、高山市体育協会からの様々な要望も今後計画的に整備されることとなる。

高山市体育協会は、社会体育施設の改修整備計画の進捗状況を見守りながら

スポーツ推進課と高山市体育協会がめざすスポーツ振興の接点を明確にし、連携強化を図りながら今後も積極的に提案していく。

以上の内容を踏まえ、高山市体育協会は、各加盟団体や各関係機関との協力、連携を図りながら次に掲げる事業を実施する。

## 各種事業の取り組み

### 1 競技力向上の取り組み

- 飛騨地区体育大会への選手派遣・参加(7月)
- 県民スポーツ大会への選手派遣・参加(9月)  
(※冬季スキー競技会は未定)
- 加盟団体等への激励金・特別強化費等助成金の支給
- 加盟団体等が行う各種大会の共催・後援事業の実施
- 優秀選手等の表彰(1月)

### 2 市民向けスポーツ振興の取り組み

- ビッグアリーナ開放の実施(5月～3月 毎月 第3木曜日)
- 市民登山クラブの開催(5月～7月)
- 市民駅伝大会の開催(10月)
- 市民健康マラソンの開催(11月)
- 市民体育大会の開催
- 各種スポーツ初心者教室の開催(市受託事業)
- 市民スポーツフェスティバルの開催(市との共催)
- 加盟団体と体育協会によるスポーツ振興事業の共催(損害賠償保険加入)
- 加盟団体等と連携したスポーツイベントの誘致
- 「体協たかやま」発行等による啓発活動
- その他、自主事業の検討

### 3 高山市体育協会組織の連携、強化に向けた取り組み

- 休会団体に対する加盟促進(グラウンドゴルフ、ボーリング協会の復帰等)
- 新年会(体協表彰式)の開催(賛助会員への出席依頼)
- 「体協たかやま」の発行及び配布

### 4 体育施設等拡充の取り組み

- 市への要望活動(市長、議長との懇談・スポーツ議員団との懇談会)
- 高山市社会体育施設改修整備計画の進捗状況の確認

## 5 スポーツ少年団に関する取り組み

- 高山市スポーツ少年団本部活動の支援(事務局)業務
- スポーツ少年団活動の充実と発展に向けた支援

## 6 指定管理事業に関する取り組み

- 健全な財政運営確保のための施設利用促進及び経費節減
- モニタリング等の実施による利用者満足度調査の実施
- 利用者のニーズに対する弾力的な対応、サービスの向上
- 職員の資質向上を図る研修と士気向上のための職員福利厚生等の充実

## 7 その他

- 市議会スポーツ議員団との懇談会
- 各委員会の開催
- 三役会の開催
- 体育協会加盟団体の事務局長会議

### 具体的な事業

月 日	事業名	会場等
5月から	各委員会(総務、財務、事業、強化、広報)の随時開催	ビッグアリーナ
5月	市民登山クラブ開始	ビッグアリーナ
5月 17日(木)	三役会	ビッグアリーナ
5月 24日(木)	理事会	ビッグアリーナ
6月 13日(水)	定時評議員会	ビッグアリーナ
6月	県体協理事会	岐阜市
7月 8日(日)	第 65 回飛騨地区体育大会	高山・飛騨・下呂市
7月 21日(土)	第 35 回市民登山の会	西穂高岳
9月 5日(水)	第 11 回岐阜県民スポーツ大会結団式	ビッグアリーナ
9月 16日(日)	第 11 回岐阜県民スポーツ大会開会式	飛騨地区 他
9月 27日(木)	三役会	ビッグアリーナ
10月 5日(金)	第 11 回岐阜県民スポーツ大会慰労会(祝賀会)	未定
10月 7日(日)	市民スポーツフェスティバル	ビッグアリーナ他
10月 12日(金)	理事会	ビッグアリーナ

10月26日(金)	評議員会	ビッグアリーナ
10月	第14回市民駅伝監督者会議	ビッグアリーナ
10月28日(日)	第14回市民駅伝大会	一之宮町地内
10月	市議会スポーツ議員団会議	ビッグアリーナ
11月	「市への要望書」提出	高山市役所
11月23日(祝)	第42回市民健康マラソン	陸上競技場周辺
12月6日(木)	理事会及び忘年会	未定
1月21日(月)	体育協会表彰式及び新年会	未定
2月	第11回岐阜県民スポーツ大会スキー競技会	未定
2月	三役会	ビッグアリーナ
2月	岐阜県スポーツ懇談会	岐阜市
3月	県体協理事会	岐阜市
3月	三役会	ビッグアリーナ
3月	理事会	ビッグアリーナ
3月	県体協・臨時評議員会	岐阜市
3月	評議員会	ビッグアリーナ

## 自主事業計画

月 日	事 業 名	会 場 等	備 考
年間を通して	市体育施設の管理運営事業	15体育施設等	指定管理事業
	トレーニングルーム利用者講習会の開催(月4回程度)	ビッグアリーナ	市受託事業
	クライミング施設利用講習会(年間6回程度)	ビッグアリーナ	市受託事業
	各種初心者スポーツ教室の開催(年間6種目程度)	ビッグアリーナ	市受託事業
	ビッグアリーナ開放事業	ビッグアリーナ	自主事業
	広報「体協たかやま」の発行(年3回) 郵送	4月、8月、1月	
	各委員会等諸会議を必要に応じ開催	ビッグアリーナ	
	市民体育大会(各加盟団体の事業計画に盛り込んで実施)	種目団体毎に設営	
	各加盟団体との共催事業の実施	市内各体育施設	
	全国大会出場者激励会の開催	ビッグアリーナ	激励金の授与
	三役会の開催	随時開催	
	スポーツ少年団事業の事務支援	ビッグアリーナ他	